



公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団
Hosokawa Powder Technology Foundation



〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1丁目9番地; Shoudai-Tajika 1-9, Hirakata, Osaka, 573-1132 JAPAN
[TEL]+81-72-867-1686 [FAX]+81-72-867-1658 [E-mail] contact_zainfo@hmc.hosokawa.com [URL] www.kona.or.jp

第54回 粉体工学に関する講演討論会を大阪で開催

- 【日時】令和4年9月5日（月） 午前10時00分～午後5時10分
- 【場所】帝国ホテル大阪（〒530-0042 大阪市北区天満橋）ならびにオンライン
- 【主催】公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団
- 【企画】粉体技術談話会
- 【後援】ホソカワミクロン株式会社

去る9月5日(月)に「第54回 粉体工学に関する講演討論会」が開催され、「SDGsに貢献する粉体および粉体プロセスの最前線」をテーマとして KONA 賞受賞講演を含み、SDGsに関連したさまざまな材料の粉体プロセスの最前線について、6氏の方からご講演がありました。これらに引き続き、この度当財団が設立30周年を迎えたことを記念して特別講演が行われました。この第54回は、2年前に開催が予定されていましたが、コロナ禍の影響により今回3年振りに、初めてオンラインを使ったハイブリッド形式での開催となりました。



開会式



KONA 賞贈呈式にて
(細川理事長と2019年度 KONA 賞受賞者内藤教授)

最初に細川悦男理事長から、この講演討論会の開催経緯や当財団の国内外での粉体工学分野における活動等について紹介されました。その後、KONA 賞の贈呈式が行われ、奥山監事から、2019年度受賞者の大阪大学内藤牧男教授、2020年度受賞者のフロリダ大学 Prof. Moudgil ならびに2021年度受賞者の一人である京都大学松坂修二教授について、各受賞者が紹介され、その後理事長からそれぞれの受賞者に KONA 賞の盾が手渡されました。KONA 賞は、粉体工学の分野で大きな業績を上げられた研究者に授与されるもので、世界中から推薦された候補者の中から審査により、毎年原則1名に授与されていますが、今回は3年振りの贈呈式で3名の受賞者に贈呈されました。



KONA 賞贈呈式にて
(細川理事長と 2020 年度 KONA 賞受賞者モーギル教授)

この講演会では、午前中のセッションで内藤教授と Prof. Moudgil から KONA 賞受賞講演が行われ、様々な材料について微粒子・粉体の構造制御や界面設計により特性の向上や高機能化が図られ幅広い工業的な応用に活用されている研究成果が紹介されました。その後、資源循環、固体電池、鉄系触媒を用いた直接改質反応による SDGs への取組みについて、粉体プロセスや粉体接合技術の観点から示唆に富んだ講演がされ、その後、SDGs を意識した装置・技術開発について紹介されました。引き続き、今回の講演会の締めくくりに、財団設立 30 周年記念特別講演として、佐川真人先生から、



KONA 賞贈呈式にて
(細川理事長と 2021 年度 KONA 賞受賞者松坂教授)

「Nd-Fe-B 焼結磁石の開発 40 年」と題して、ネオジム磁石の発見、開発の歴史やその特性、応用について分かりやすく解説されました。今回のシンポジウムには会場で 60 名余り、オンラインで 110 名余り、全体で 180 名近くの参加があり、会場ではそれぞれの講演の後、活発な質疑応答がされました。今回は、コロナ禍対策として、会場では間隔を広く開けた座席配置とし、体温の検温、マスク着用、アルコール消毒、アクリル板の設置等の措置が取られ、懇親会の開催は残念ながら中止となりました。これらの制限が必要のないような正常な状況に早く戻ることが強く望まれます。



講演討論会会場風景



設立 30 周年記念講演にて
(左手：佐川先生、中央手前：司会の藤先生)